

知恵 知っとこ生活の知恵

暮らしのアドバイス No.130

ファイナンシャル 仲西 康至 (音江町在住)



今年のお正月は、新型コロナウイルスの影響から、帰省を止めた人も少なくないでしょう。実家の両親は子供たちの帰りを楽しみにしている一方で、子供たちも実家の様子が気になります。

超高齢化社会を迎えている日本では、部屋を片づけられない高齢者世帯が社会問題となっています。「久しぶりに実家に帰ったとき、物で溢れた部屋に唖然とした」と、話もよく聞かれます。高齢者世帯の家が片づけられない原因は、「物を捨てられない」世代だからです。特に、1か所に長く住み続けることで、家の中は物で溢れていきます。コロナ禍で「断捨離」に取り組む人もいますが、こちらは若いに多いようです。こうした部屋を片づけられない高齢者世帯には、様々なリスクが潜んでいます。

1つは健康上の問題です。アレルギー、水回りの黒カビ汚染、害虫

の発生等があります。当然、悪臭によるストレスも考えられます。

2つ目は、ケガ・災害等のリスクです。室内に物が溢れることで、転倒等のリスクが高まります。そして、火災の発生と避難の妨げにもなります。

3つ目は、遺産整理を難しくする問題です。部屋が片付けられないことで、通帳・家の権利書・保険証書等の重要書類の所在が解らなくなります。クレジットカードは解約手続きをしなければいつまでも年会費を支払うこととなります。万が一、カードの紛失に気付いていなければ、悪用されるリスクもあります。

4つ目は、不用品の破棄費用の発生です。専門業者に委託することで、数十万円も必要となります。この他にも、部屋を片付けられず、日常生活が怠慢になることで、無気力状態や思考力の低下なり、痴ほう症へと繋がる可能性も考えられます。

しかし、高齢の親に、片付けを促すことは容易ではありません。まずは、子供と一緒に片付けることが大切となります。そのことで、重要書類等の保管場所を確認しておくことができます。そして、物を捨てるのではなく、まずは物置等に保管すると、スムーズに片付けも進みます。コロナ禍のいま、親子で「断捨離」に取り組んでは如何でしょうか。

高齢者世帯は 部屋の片づけが大切

